

令和6年度  
MEMSパークコンソーシアム  
総会議案書

令和5年度 事業活動報告・決算報告  
令和6年度 事業計画（案）・審議事項

令和6年6月14日（金）

**MEMS**  
**PARK CONSORTIUM**

## 報告事項

### 1 活動方針（令和5年度総会決定）

既存事業については、経常的経費の削減を行い、ネットワーク活動のさらなる充実に充て、会員満足度の向上を図る。

また、マスコミからの注目度の高い国際イノベーションコンテスト（iCAN）の活用や、展示会への出展を通して広報活動を強化することで、新規会員の獲得を図る。

#### (1) 情報発信事業

MEMS 集中講義や他機関との連携による効果的なセミナーを実施し、MEMS 技術の積極的な活用を促すとともに、WEB サイト、メールマガジン等の広報ツールを活用し、会員企業様への情報発信の更なる充実を図る。

また、各県公設試や企業と連携の上、ナノ・マイクロビジネス展等への出展を継続し、東北地域のものづくりネットワークを広くアピールする。

さらに、仙台 MEMS ショールームの各種展示物のアップデートにより、MEMS 分野における最新情報を発信していくほか、ショールーム内でのセミナーを開催することにより、仙台地域における MEMS の拠点性をアピールする。

#### (2) 人材育成事業

基礎講座・設計実習・試作実習とも希望に応じて実習開始時期を通年とし、より企業ニーズに即した形で会員企業様等が自ら企画したデバイスの試作実習ができるよう、人材育成事業を実施する。

また、iCAN'23 国内予選の仙台開催、世界大会の日本事務局の運営により、高校生から大学院生等の次世代の MEMS 技術を担う若手人材育成を強力に推進する。

#### (3) 技術相談事業

展示会での技術相談のほか、WEB や東北地域の関係機関によるネットワークを有効に活用して迅速な課題解決を図る。

#### (4) ネットワーク形成事業

セミナーと連動した交流会の実施により、会員同士、講師の方々との情報交流を促進し広範なネットワーク形成を支援する。

## 2 活動内容（実績）

### (1) 情報発信事業

#### ①公開セミナーの開催

##### ■第 21 回 MEMS 集中講義（ハイブリッド）

日程：令和 5 年 8 月 8 日（火）～10 日（木）

会場：北九州産業学術推進機構（FAIS）会議場  
及び YouTube Live

参加者数：206 名（講師・関係者含む、内現地参加 31 名）

内容：昨年と同様にリアルとオンラインのハイブリッドで開催した。東北大学の研究者の方々より、MEMS 技術の基礎的知識から各分野のアプリケーションへの応用展開、最新の技術・業界動向や、センサ・MEMS を用いた異分野融合研究について等、様々な角度から情報提供を行った。また今回共催である北九州産業学術推進機構（FAIS）活動紹介、施設見学も行った。当初 30 名超の現地参加申込があったが、台風 6 号が直撃する予報により直前でオンライン参加への変更が目立った。また 2 日目は事務局からも全員にオンライン参加を要請した。最終日には参加人数は少なかったが交流会も実施でき、次第にコロナパンデミック前の状況に近づきつつある。



現地の様子（講義、説明会）

##### ■第 34 回マイクロシステム融合研究会（オンライン）

日程：令和 5 年 6 月 23 日（金）14:00～17:40

参加者数：89 名（うち講師・関係者 11 名）

内容：「human well-being を支えるマイクロデバイス・基盤技術」をテーマに歯科医療機器開発、ヘルスケアウェアブルデバイス、皮膚からの生体モニタリングシステムやセンサ/アクチュエータ材料やグシステム等 6 つの講演を行った。

14:00-14:35 東北大学歯学研究科 日原 大貴

「アカデミアにおける歯科医療機器開発」

14:35-15:10 株式会社 SOXAI 渡邊 達彦

「世界最小の指輪型ヘルスケアウェアブルデバイス-SOXAI Ring-」

15:10-15:45 東北大学医工学研究科 藪上 信

「磁性ナノ粒子を用いた微生物センサ」

15:50-16:25 東北大学工学研究科 鶴岡 典子

「皮膚からの生体情報モニタリングデバイス」

16:25-17:00 芝浦工業大学 吉田 慎哉

「圧電 MEMS の高性能化のための圧電単結晶薄膜の研究」

17:00-17:35 東北工業大学 室山 真徳

「集積システムをコアとした触覚等センシングと

次世代ロボット・人間拡張への応用」

■第35回マイクロシステム融合研究会+MEMSPC Café（対面）

日程：令和6年3月1日（金）

内容：情報共有とネットワーク形成を目的に、MEMS/マイクロシステムに関連する話題で講演会を行った。また研究会終了後には交流会を実施した。

研究会（東京オフィス AB 会議室）：参加 40 名

14:25～15:00 日清紡マイクロデバイス（株） 口地 博行

「圧電 MEMS マイクロフォンの開発とその応用」

15:00～15:35 日本 3D プリンティング産業技術協会 大庭 秀章

「海外 3D プリンタの動向」

15:45～16:25 SPP テクノロジーズ エグゼクティブアドバイザー/  
SK グローバルアドバイザーズ代表取締役 神永 晋

IEEE Electron Devices Society -Robert Bosch Micro and Nano Electro  
Mechanical Systems Award 受賞記念講演

講演タイトル「シリコン深掘り技術(DRIE)とMEMSの発展

～今後の展望と期待～」

16:25～17:00 藤倉化成（株） 村山 竜一

「藤倉化成の導電性材料『DOTITE』のご紹介」

17:00～17:35 内藤電誠工業（株） 山内 孝之/鈴木 雅之

「センサ用カスタム IC の設計、及び評価解析について」

交流会（サピアタワー402CD 室）：参加 27 名



■第2回微細パターン形成に関するシンポジウム（NMFS2023）

日程：令和5年11月22日（水）

参加者数：約30名（概数、関係者込）

内容：前日開催に **Fraunhofer Symposium** と連携する形で開催した。東北大学試作コインランドリで利用可能なツールを中心に、メーカー各社のショートプレゼンとハンズオンの実習を実施した（詳細下記）。

- ・ショートプレゼン  
GenlSys、エリオニクス、ハイデルベルク・インストルメンツ、SIJ テクノロジ、住友精密工業、TOWA レーザーフロント
- ・ハンズオン実習  
コース1 サブフェムトインクジェットパターンニングコース  
コース2 EBリソグラフィコース  
コース3 グレイスケール、パターン補正を含む精密リソグラフィコース



ショートプレゼンの様子

②展示会の開催・出展

■MEMS Engineers Forum(MEF) 2023

日程：令和5年4月19日（水）～20日（木）

会場：KFC Hall & Rooms（東京 両国）

展示会来場者（2日間合計）：664名（主催者発表）



展示の様子

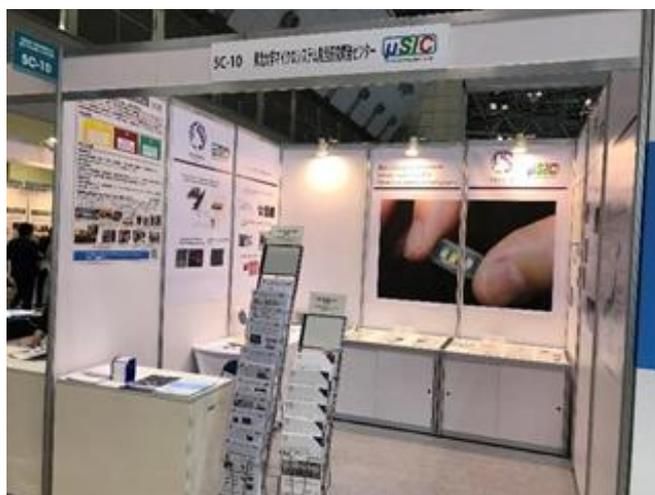
〔内容〕MEMS Engineers Forum(MEF)は東北大学田中秀治教授が実行委員長で開催するMEMS技術関係の国際フォーラムで展示会を併設している。MEMSPCはアカデミア枠で出展しポスター展示を行った。フォーラムはコロナ感染防止に留意しつつほぼコロナ前のやり方に実施され大変盛況であった。

## ■MEMS センシング&ネットワークシステム展 2024

日程：令和6年1月31日（水）～2月2日（金）

会場：東京ビッグサイト

展示会来場者（3日間合計）：42,034名（主催者発表）



展示ブースの様子

〔内容〕MEMS パークコンソーシアムは東北大学マイクロシステム融合研究開発センターと共同出展した。ブースに MEMSPC 紹介パネル（コンソーシアム概要／人材育成事業/iCAN）及びパンフレット等を展示した。来場者はコロナパンデミック以前に戻ったかのようなのである。試作コインランドリについての問い合わせやパンフレットを所望する訪問者が多かった。

〔主な同時開催イベント〕 nano tech 2024 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

### ③MEMS ショールームの運営

西澤センター利用者を中心として、展示デバイスやMEMSの歴史等を見学いただいた。新型コロナウイルス感染症の5類への移行も影響してか、MEMS ショールームの見学者数は前年度と比べて増加した。

- ・令和5年度見学者数（署名いただいた方）：18名（令和6年3月末現在）
- ・オープン（平成24年5月）以降累積見学者数：1,181名

(2) 人材育成事業

①第14回国際イノベーションコンテスト (iCAN'23) 国内予選

日程：令和5年4月23日(日)

場所：せんだいメディアテーク

参加者数：120名(オープンスペースの開催のため参加者数は概数)

内容：MEMSデバイスを用いたアプリケーションを提案し、試作した成果を競う国際コンテストの国内予選を開催した。大学生・専門学生・高校生計17チームが予選に参加し、審査の結果以下のチームを表彰した。

順位	チーム名	作品名	所属
1位 (同率)	Perpetual Motion Machine	ChihoNot	青森県立弘前工業高等学校
1位 (同率)	Jammy Tech	Smart Walking Device	京都先端科学大学
3位	The Three Phantoms	Penculu	東京工業大学 放送大学 東京農工大学
4位	Muscle	らくらくスティック	名城大学

また、学生の互選による以下の賞を授与した。

賞(互選)	チーム名	作品名	所属
ポスター賞	Jammy Tech	Smart Walking Device	京都先端科学大学
特別賞 (技術部門)	仕掛け手	Dexterous hand	東京都立多摩科学技術高等学校
特別賞 (チャレンジ部門)	Cradle	こもるん	名城大学
特別賞 (アイデア部門)	Icy	たべごろん	名城大学



現地の様子（ポスターセッション、表彰式）

## ②第13回国際イノベーションコンテスト（iCAN'23）世界大会

日程：令和5年6月25日（日）

場所：国立京都国際会館 New Hall

出場：中国，日本，タイ，ドイツから23チーム

内容：新型コロナウイルス感染症拡大の影響で前回大会が中止となったため、今大会には、日本からiCAN'22及びiCAN'23国内予選の入賞チーム（計8チーム）が参加し、下記のとおり受賞した。

順位	作品名	所属
1位 (同率)	ReCharge Nap (Level11Mfg)	同志社大学
2位 (同率)	JASMIN	秋田県立大館鳳鳴高等学校
3位 (同率)	Katakoranalyzer Huwatto	仙台青陵中等教育学校
3位 (同率)	Foot eyes	青森県立弘前工業高等学校

## ③iCAN+

iCAN'23国内予選を勝ち抜いたチームのうち希望者を対象に、世界大会および事業化へ向けたフォローアップのための事業「iCAN+」を実施した。週1回、合計4回にわたりベンチャーキャピタルの専門家（スパークル株式会社 小山田 有裕様）からオンライン（zoom）で世界大会におけるプレゼンテーションスキルを中心に指導を受けた。

### (3) 技術相談事業

各種展示会や試作コインランドリでの技術相談のほか、MEMSパークコンソーシアムのホームページ上に、MEMS技術に関する各種相談を受けるための相談窓口を開設している。また、研究会や展示会で情報交換を積極的に行った。

### (4) ネットワーク形成事業

情報交換の場の提供

ハイブリッド開催とした第21回MEMS集中講義や対面開催の第35回マイクロシステム融合研究会+MEMSPC Caféにおいては交流会を実施して講演者や参加者間で情報交換を積極的に行った。

### 3 東北大学試作コインランドリ

東北大学西澤潤一記念研究センターの 1,800 m<sup>2</sup>の大型クリーンルームにおいて、微細加工に関する 150 台以上の設備が利用でき、経験豊富な 10 名を超える技術支援スタッフが研究開発を全面的にサポートしている。2010 年の開始以降、分野は MEMS、通信、フォトニクス、半導体材料、半導体製造装置と多岐にわたり、これまでに 380 を超える機関の利用実績がある。設備、技術情報に利用者がアクセスし、加工結果などの情報を他と共有しながら、研究開発を加速させる「オープンコラボレーション」を実践されていて、設備、技術が蓄積し、その他の開発にも活用されるポジティブフィードバックが働いている。実際の経験を有し、技術の本質を知った、その先の研究開発を切り拓く人材も育成される。人材育成と研究開発を同時に行うことによって、デバイス開発が推進されて製品化に至った事例が複数ある。

試作コインランドリの設備を利用して企業が製品を制作する企業の「製品制作」も支援している。大学の研究開発活動の成果を製品として販売し社会で実証するとともに、制作の過程や社会で生じた成果・課題を大学の教育研究にフィードバックさせてさらに加速させることを目的としており、これまでに数例の実績がある。

東北大学は文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM) において「高度なデバイス機能の発現を可能とするマテリアル」技術領域のハブ機関となっており、2023 年よりデータ収集・登録を本格的に開始した。加工プロセスデータ、計測データを収集、蓄積、利活用できる環境を整備することで、個々のデバイス開発に適したプロセスフロー、レシピの検索、提案などを実現して、利用者の研究開発支援をさらに推進する。

試作コインランドリの新たな機能として、東北大学西澤潤一記念研究センター 3 階に、広さ約 300 m<sup>2</sup>の「プロトタイプラボ」を開設している。3D プリンタやカッティングマシンなどの造形を中心とした工作機器に加えて、電子工作、機械工作、評価に関する 100 台以上の機器が時間単位で廉価で利用可能である。電源や無線通信機能を有する半導体チップやセンサなどの微小デバイスを組み合わせた高機能なハードウェアの試作にも対応し、商品に近い形まで完成度を高められるものとなっている。学生や企業技術者、一般の方など、登録すれば誰でも利用可能で、経験豊富なスタッフの支援のもとで開発が進められるものとしている。



クリーンルーム

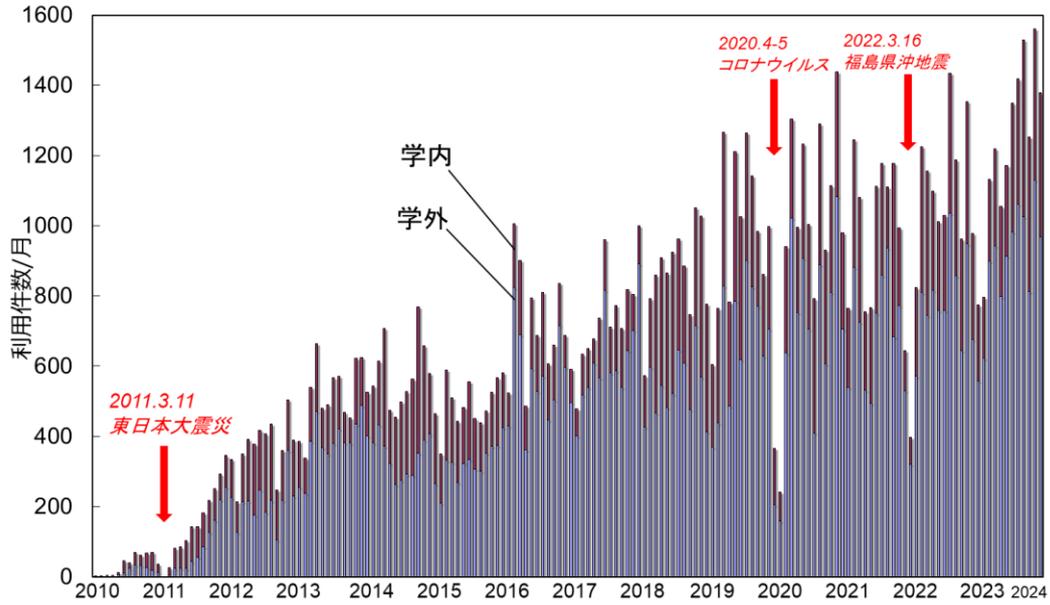


プロトタイプラボ

《令和5年度利用実績》（令和6年3月末現在）  
・利用件数 14,638件（※これまでの推移は下図参照）  
・利用料収入 32,547万円

（参考）令和4年度利用実績  
・利用件数 12,660件  
・利用料収 26,045万円

## 試作コインランドリ 装置利用件数 ~2024.3



## 令和5年度 決算報告

### 1 一般会計

(単位：円)

※令和6年3月末現在

収入の部			
項目	令和5年度予算	令和5年度決算	備考
前年度繰越金	23,366,771	23,366,771	
会費収入	4,000,000	3,000,000	1口50,000円(44団体、60口)
人材育成試作実習受講料	0	0	
協賛金	0	100,000	(財)みやぎ産業科学振興基金
交流会会費	100,000	94,000	MEMS集中講義交流会/MEMSPC Café
雑収入	0	180	銀行利息
<b>収入合計</b>	<b>27,466,771</b>	<b>26,560,951</b>	

支出の部					
項目	内訳	R5年度予算	令和5年度決算	備考	
広報関係費	活動案内パンフ増刷	30,000	0		
	さくらインターネットHP更新作業費	6,000	0		
	さくらインターネットサービス継続利用料	6,000	9,220		
<b>小計</b>		<b>42,000</b>	<b>9,220</b>		
出展関係費	MEMSセンシング&ネットワークシステム展	100,000	0	μSICブースに共同出展	
	SEMICON Japan関係	50,000	0	出展見合わせ	
<b>小計</b>		<b>150,000</b>	<b>0</b>		
セミナー関係費	MEMS Engineer Forum関係	70,000	110,000	MEMSPCブース出展費用	
	MEMS集中講義開催経費	50,000	0	μSICと共催	
	MEMS公開セミナー	50,000	0	公開セミナー実施見合わせ	
	マイクロシステム融合研究会		100,000	89,790	講演講師謝礼金(源泉所得税控除額)
				10,210	源泉所得税
<b>小計</b>		<b>290,000</b>	<b>210,000</b>		
交流会開催費	MEMS集中講義	50,000	51,430	(そらいろ食堂、くりもと酒店)	
	マイクロシステム融合研究会	50,000	0		
	MEMSPC Cafe	50,000	138,000	株式会社ジェイアール東日本ビルディング	
<b>小計</b>		<b>150,000</b>	<b>189,430</b>		
人材育成運営費	人材育成運営費	100,000	0	人材育成試作実習運営経費	
<b>小計</b>		<b>100,000</b>	<b>0</b>		
iCAN運営費	iCAN運営費	7,426,000	4,215,201	※詳細な内訳は特別会計予算参照	
<b>小計</b>		<b>7,426,000</b>	<b>4,215,201</b>		
事務関係費	消耗品費	20,000	2,680	事務消耗品費、年会費請求書・各種案内送料	
	銀行手数料	10,000	5,390	銀行振込手数料	
	出張旅費	45,000	44,200	第35回マイクロシステム融合研究会 仙台市経済局2名分	
<b>小計</b>		<b>75,000</b>	<b>52,270</b>		
ショールーム関係費用	建物賃付料	170,000	158,466		
	光熱費	50,000	37,982	R5.1～R5.9分	
<b>小計</b>		<b>220,000</b>	<b>196,448</b>		
<b>支出合計</b>		<b>8,453,000</b>	<b>4,872,569</b>		

当年度収支	-4,353,000	-1,678,389	収入合計(前年繰越を除く)－支出合計
繰越金	19,013,771	21,688,382	

決算額 21,688,382

上記は全額下記の銀行口座及び現金にて保管してあります。

七十七銀行 泉パークタウン支店 普通預金 口座番号 5227011	21,688,382
現金(金庫内保管)	0
	21,688,382

令和6年4月26日

**株式会社日本政策投資銀行東北支店**

次長 **星 憲太郎**

2 特別会計 令和5年度 iCAN運営費

(単位：円)

※令和6年3月末現在

収入の部				
項目	令和5年度予算	令和5年度上半期決算	備考	
iCAN運営費(一般会計より)	7,426,000	4,215,201		
協賛金・助成金	0	0		
雑収入	0	8	利息	
<b>収入合計</b>	<b>7,426,000</b>	<b>4,215,209</b>		
支出の部				
項目	内訳	令和5年度予算	令和5年度上半期決算	備考
国内旅費	国内予選参加チーム旅費	661,000	661,000	東北地域(補助5,000円/人)2チーム7名 関東地域(補助13,000円/人)4チーム9名 中部地域(補助23,000円/人)4チーム15名 関西地域(補助25,000円)1チーム4名 ※宮城県内からの参加者は補助無
	世界大会参加国内旅費	2,600,000	1,068,830	日本からの出場8チームの交通費・宿泊費実費及び日当(2,000円/日・人)を支給。
<b>小計</b>		<b>3,261,000</b>	<b>1,729,830</b>	
海外旅費	世界大会参加旅費	0	0	R5年度の世界大会は京都で開催
<b>小計</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	
iCAN+(iCAN23世界大会フォローアップ)	講演講師謝金	300,000	165,000	諸経費と源泉所得税含む
	外部招聘講師お礼	20,000	10,000	外部招聘講師お礼としてAmazonギフト券
<b>小計</b>		<b>320,000</b>	<b>175,000</b>	
国内予選人件費	審査員謝金	30,000	20,000	小山田様、籠様(源泉所得税含む)
	審査員旅費	40,000	39,128	
	司会委託費	20,000	20,000	源泉所得税含む
	司会旅費	25,000	23,840	
<b>小計</b>		<b>115,000</b>	<b>102,968</b>	
世界大会人件費	審査員謝金	100,000	70,000	10,000円×7名
	審査員旅費	400,000	25,000	5,000円×5名
	司会委託費	20,000	0	京大職員ボランティア
	司会旅費	80,000	0	京大教員ボランティア
	事務局旅費	480,000	131,052	仙台市より2名参加分
	学生謝金	25,000	40,000	京大ツアー案内謝金(リーダー1万円、他5000円×6名)
<b>小計</b>		<b>1,105,000</b>	<b>266,052</b>	
器具・備品費	国内予選分試作補助費	340,000	340,000	1チーム一律20,000円(税込)×17チーム
	世界大会分試作補助費	160,000	180,000	1チーム一律20,000円(税込)×8チーム、iCAN+20,000円
<b>小計</b>		<b>500,000</b>	<b>520,000</b>	
使用料・借用費	国内予選会場使用料	250,000	173,150	iCAN23国内予選せんだいメディアテーク附帯設備使用料・
	世界大会会場使用料	500,000	261,750	iCAN23国際大会会場、京大ツアー会場使用料
<b>小計</b>		<b>750,000</b>	<b>434,900</b>	
印刷・製本・記念品費	国内予選広報費	100,000	85,910	チラシ・ポスター制作費
	世界大会広報費	100,000	67,532	パンフレット制作費
	記念品	200,000	339,020	Tシャツ、缶バッジ、京友権ハンカチ、ポーチ、トートバック
<b>小計</b>		<b>400,000</b>	<b>492,462</b>	
食糧費	国内予選交流会食糧費	2,000	1,130	審査員・司会者飲料・交流会は実施無し
	世界大会食糧費	250,000	382,190	学生、審査員・事務局・スタッフ弁当、運営懇親会
<b>小計</b>		<b>252,000</b>	<b>383,320</b>	
事務関係費	消耗品費	50,000	89,717	事務消耗品、iCAN23賞状・目録
	銀行手数料	10,000	20,460	銀行振込手数料
<b>小計</b>		<b>60,000</b>	<b>110,177</b>	
雑費	国内大会事務経費	10,000	0	
	世界大会事務経費	20,000	0	
	駐車場利用費	0	500	
<b>小計</b>		<b>30,000</b>	<b>500</b>	
予備費	予備費	633,000	0	
<b>小計</b>		<b>633,000</b>	<b>0</b>	
<b>支出合計</b>		<b>7,426,000</b>	<b>4,215,209</b>	
<b>当年度収支</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	
繰越金	7,426,000	0	0	

決算額 0

上記は全額下記の銀行口座及び現金にて保管してあります。

七十七銀行 名掛丁支店 普通預金 口座番号 6055079  
現金(金庫内保管)

0  
0  
0

令和6年4月26日  
株式会社日本政策投資銀行東北支店  
次長 星 憲太郎

令和6年度事業計画（案）  
審議事項

- 1 役員の就任・辞任・変更
- 2 令和6年度事業計画（案）
- 3 令和6年度予算（案）

## 1 役員の就任・辞任・変更

MEMSPC 総会にて承認を得た後、下記のとおり役員体制を変更する。

### (1) 就任・辞任

新	旧	所属	肩書
木村 賢治朗	柳津 英敬	仙台市	役員（副代表）
富永 悌二	大野 英男	東北大学	役員（顧問）

### (2) 変更

新	旧	所属	肩書
井元 尚充	石川 俊介	東北経済産業局	推進委員会委員
日下 開	丹野 英司	宮城県	推進委員会委員

新	旧	所属	氏名
会長	代表取締役社長	株式会社 メムス・コア	本間 孝治

## 2 令和6年度事業計画（案）

令和5年度に引き続き、①情報発信事業、②人材育成事業、③技術相談事業、④ネットワーク形成事業を実施すると共に、以下のとおり事業の充実化を図る。

### (1) 試作コインランドリ利用の推進について

各種展示会や講演会、仙台 MEMS ショールーム等において、試作コインランドリの活用による実用化例や、利用可能な設備、技術等の情報を広く発信して利用者の増加を目指す。また、MEMSPC 会員のネットワークも活用しながら、開発の支援を行う。

### (2) MEMS 集中講義

第 22 回の MEMS 集中講義を開催予定。

MEMS の基礎知識から学会等の最新情報までを幅広く扱って、MEMS に携わっている技術者、これから関係しようとする技術者に必要な情報を提供する。

### (3) MEMSPC 会員企業に資するネットワーク構築活動

これまでの MEMSPC の取組みにより培ったネットワークを、会員企業がより効果的に利用できるよう、要望に応じて事務局がコーディネーターや企業訪問を行う等により会員企業のネットワーク構築に寄与する。また MEMSPC 設立 20 周年を記念するイベントを企画して、MEMSPC ネットワークの拡大に繋げる。

3 令和6年度予算(案)

(1) 令和6年度 MEMSPC 予算積算内訳(一般会計)

(単位:円)

収入の部			
項目	R6年度予算	R5年度決算	備考
前年度繰越金	21,688,382	23,366,771	
会費収入	2,800,000	3,000,000	1口50,000円(42団体×56口)
人材育成試作実習受講料	0	0	試作実習の申し込みがあれば対応
協賛金	0	100,000	
交流会会費	100,000	94,000	集中講義、MEMSPC Café等
雑収入	180	180	利子
<b>収入合計</b>	<b>24,588,562</b>	<b>26,560,951</b>	

支出の部				
項目	内訳	R6年度予算	R5年度決算	備考
広報関係費	活動案内パンフ増刷	0	0	
	さくらインターネットHP更新作業費	0	0	更新作業は自前で実施
	さくらインターネットサービス継続利用料	10,000	9,220	
<b>小計</b>		<b>10,000</b>	<b>9,220</b>	
出展関係費	MEMS Engineer Forum関係	55,000	110,000	MEMSPCブース出展費用
	MEMSセンシング&ネットワークシステム展	55,000	0	μSICと共同出展(費用按分)
	SEMICON Japan 関係	55,000	0	アカデミックブース出展
<b>小計</b>		<b>165,000</b>	<b>110,000</b>	
セミナー関係費	MEMS集中講義開催経費	50,000	0	μSICと共催、会場使用料等
	MEMS公開セミナー	300,000	0	設立20周年記念イベント、講演講師謝金等
	マイクロシステム融合研究会	100,000	100,000	μSICと共催、講演講師謝金等
	セミナー開催経費	50,000	0	決算見込み(スタッフ旅費)
<b>小計</b>		<b>500,000</b>	<b>100,000</b>	
交流会開催費	MEMS集中講義	50,000	51,430	交流会実施
	マイクロシステム融合研究会	50,000	0	交流会実施
	MEMSPC Cafe	50,000	138,000	決算:見込み額(交流会費)
<b>小計</b>		<b>150,000</b>	<b>189,430</b>	
人材育成運営費	人材育成運営費	0	0	人材育成試作実習運営経費
<b>小計</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	
iCAN運営費	iCAN運営費	3,477,000	4,215,201	詳細は特別会計に記載
<b>小計</b>		<b>3,477,000</b>	<b>4,215,201</b>	
事務関係費	消耗品費	20,000	2,680	事務消耗品費、年会費請求書・各種案内送料
	銀行手数料	5,000	5,390	
	出張旅費	0	44,200	
<b>小計</b>		<b>25,000</b>	<b>52,270</b>	
ショールーム関係費用	建物賃付料	170,000	158,466	
	光熱費	50,000	37,982	
<b>小計</b>		<b>220,000</b>	<b>196,448</b>	
<b>支出合計</b>		<b>4,547,000</b>	<b>4,872,569</b>	

<b>当年度収支</b>	<b>-1,646,820</b>	<b>-1,678,389</b>	収入合計(前年繰越を除く)ー支出合計
<b>繰越金</b>	<b>20,041,562</b>	<b>21,688,382</b>	

## (2) 令和6年度 iCAN 運営費 予算積算内訳 (特別会計)

(単位:円)

収入の部				
項目		R6年度予算	R5年度決算	備考
iCAN運営費(一般会計より)		3,477,000	4,215,201	
協賛金・助成金		0	0	
雑収入		0	8	
収入合計		<b>3,477,000</b>	<b>4,215,209</b>	
支出の部				
項目	内訳	R6年度予算	R5年度決算	備考
国内旅費	国内予選参加チーム旅費	644,000	661,000	東北地域 5,000円×4名×1チーム 関東地域 13,000円×4名×3チーム 中部地域 23,000円×4名×4チーム 関西地域 25,000円×4名×1チーム ※県内からの参加者は補助無(4チーム) ※4/14開催国内予選参加チームを基に積算
	世界大会参加国内旅費	50,000	1,068,830	日本からの出場チーム(1チーム想定)の交通費・宿泊費実費及び日当(2,000円/日・人)を支給。
小計		<b>694,000</b>	<b>1,729,830</b>	
海外旅費	世界大会参加旅費	1,878,000	0	【R6予算】 航空券(400,000円×4名×1チーム) 宿泊料(16,100円/泊×4名×3泊×1チーム) 日当(5,300円/日×4名×4日×1チーム) ※1チーム4人で積算
小計		<b>1,878,000</b>	<b>0</b>	
iCAN+(iCAN世界大会フォローアップ)	講演講師謝金	50,000	165,000	
	外部招聘講師お礼	10,000	10,000	
		<b>60,000</b>	<b>175,000</b>	
国内予選人件費	審査員謝金	40,000	20,000	源泉所得税含む
	審査員旅費	50,000	39,128	
	司会委託費	20,000	20,000	源泉所得税含む
	司会旅費	25,000	23,840	
小計		<b>135,000</b>	<b>102,968</b>	
世界大会人件費	旅費、謝金等	0	266,052	R5決算額は総額
小計		<b>0</b>	<b>266,052</b>	
器具・備品費	国内予選分試作補助費	260,000	340,000	1チーム一律20,000円(税込)×13チーム
	世界大会分試作補助費	20,000	180,000	1チーム一律20,000円(税込)×1チーム
小計		<b>280,000</b>	<b>520,000</b>	
使用料・借用費	国内予選会場使用料	200,000	173,150	せんだいメディアテーク附帯設備使用料
	世界大会会場使用料	0	261,750	
小計		<b>200,000</b>	<b>434,900</b>	
印刷・製本・記念品費	国内予選広報費	100,000	85,910	チラシ・ポスター制作費
	世界大会広報費	0	67,532	
	記念品	0	339,020	
小計		<b>100,000</b>	<b>492,462</b>	
食糧費	国内予選交流会食糧費	50,000	1,130	審査員・司会者飲料・交流会を実施
	世界大会食糧費	0	382,190	
小計		<b>50,000</b>	<b>383,320</b>	
事務関係費	消耗品費	50,000	89,717	事務消耗品、iCAN賞状・目録、iCANチラシポスター・デバイス郵送料・カード年会費
	銀行手数料	10,000	20,460	銀行振込手数料
小計		<b>60,000</b>	<b>110,177</b>	
雑費	国内大会雑費	5,000	500	
	世界大会雑費	5,000	0	
小計		<b>10,000</b>	<b>500</b>	
予備費	予備費	10,000	0	
小計		<b>10,000</b>	<b>0</b>	
支出合計		<b>3,477,000</b>	<b>4,215,209</b>	
当年度収支		<b>0</b>	<b>0</b>	収入合計-支出合計

## MEMS パーク コンソーシアム 令和6年度役員等名簿（案）

## 【役員】

肩書	所属	部署	役職	氏名
代表	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	教授	戸津 健太郎
副代表	SEMIジャパン		代表	浜島 雅彦
副代表	東北大学	未来科学技術共同研究センター	シニアリサーチフェロー・名誉教授	桑野 博喜
副代表	東北大学		名誉教授	原山 優子
副代表	東北経済産業局	地域経済部	部長	小林 和昭
副代表	宮城県	経済商工観光部	部長	梶村 和秀
副代表	仙台市	経済局	局長	木村 賢治朗
監事	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	支店長	松岡 基嗣
幹事	富士電機 株式会社	パワエシステム インダストリー事業本部 開発統括部 計測・制御開発センター 計測機器開発部	主席	武居 正彦
幹事	株式会社 アドバンテスト研究所		代表取締役社長	君島 正幸
幹事	株式会社 メムス・コア		会長	本間 孝治
幹事	産業技術総合研究所 東北センター	産学官連携推進室	所長代理	後藤 浩平
幹事	一般社団法人 東北経済連合会	東経連ビジネスセンター	センター長	西山 英作
顧問	一般社団法人 東北経済連合会		会長	増子 次郎
顧問	東北大学		総長	富永 悌二
顧問	東北経済産業局		局長	戸邊 千広
顧問	宮城県		知事	村井 嘉浩
顧問	仙台市		市長	郡 和子

## 【アドバイザー】

アドバイザー	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	シニアリサーチフェロー	江刺 正喜
--------	------	--------------------	-------------	-------

## 【推進委員会委員】

肩書	所属	部署	役職	氏名
委員長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任研究員	大高 剛一
委員	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	次長 兼 東北復興・成長サポート室長 兼 企画調査課長	星 憲太郎
委員	株式会社 ティ・ディ・シー		代表取締役社長	赤羽 優子
委員	株式会社 リコー	先端デバイス研究センター		佐々木 俊英
委員	一般社団法人 東北経済連合会	東経連ビジネスセンター	センター長	西山 英作
委員	東北大学	研究推進部産学連携課	課長	菊田 克也
委員	東北経済産業局	地域経済部情報政策・半導体戦略室	室長	井元 尚充
委員	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	課長	日下 開
委員	仙台市	経済局イノベーション推進部スタートアップ支援課	課長	酒井 宏二

## 【事務局】

肩書	所属	部署	役職	氏名
事務局長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任研究員	大高 剛一
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	教授	戸津 健太郎
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	事務補佐員	小林 みゆき
	東北経済産業局	地域経済部情報政策・半導体戦略室	係長	亀田 大貴
	東北経済産業局	地域経済部情報政策・半導体戦略室	係員	早坂 凌
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	主任主査(班長)	阿部 江平
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	主査	高橋 宏典
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	技術主任主査	伊藤 淑恵
	仙台市	経済局イノベーション推進部スタートアップ支援課	総括主任	長田 真由子
	仙台市	経済局イノベーション推進部スタートアップ支援課	主事	菊地 麟太郎